

# がんばってます神戸の農業 NO. 3 櫛谷町 (寺谷編)

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。

今回は西区の櫛谷町とそこで頑張っている若手農家の福山剛史さんをご紹介します。

## 櫛谷町

西区の東部にあり、東に伊川谷町、南に玉津町、西に押部谷町に接した地域で水稻や軟弱野菜の生産や、酪農や肉牛等の畜産が盛んです。

又、ある地域のため池では神戸市で数ヶ所しか残っていないカワバタモロコ（淡水魚）が息息しており、地域の住民が定期的にかワバタモロコの観察会や調査を行い、保全活動に力を入れています。



カワバタモロコを守る活動の様子

## 寺谷

福山会長代理の地元寺谷集落は、櫛谷町の北部にあり、農家数は53戸で、その内14戸が専業農家、39戸が兼業農家です。

また、寺谷集落の北部にある高尾牧場では肉豚、神戸牛牧場では肉牛の肥育が行われており、寺谷ファームズでは放牧場を利用した酪農が営まれております。



寺谷ファームズの放牧場

### ○がんばる若手農業者（福山 剛史（たけし）さん 27歳）

1. 福山 剛史さんは寺谷ファームズで祖父母、父、兄弟と一緒に酪農をされており、今年で8年目になります。朝と夕方の2回に分けて、搾乳から牛舎の掃除、堆肥の運搬等一連の農作業を行っております。
2. 酪農の大変なところを伺ったところ、「生き物が相手なので、毎日顔を見ながら、世話をする必要があり、休暇がとれない。」と話しながらも、「子牛が元気に生まれてきてくれるところを見ると、嬉しい、やりがいを感じる。」と楽しそうに話されました。
3. 「農業や酪農の魅力を発信できるようにこれから頑張っていきたい！」と将来の展望を語られた福山 剛史さんの言葉には自信と熱意が感じられました。



福山 剛史さん

### ○史跡（端谷（はぜたに）城跡）

1. 端谷城は衣笠城とも呼ばれ、赤松氏に仕えていた衣笠氏が鎌倉時代より治めていました。
2. 戦国時代に織田信長配下の羽柴秀吉と三木氏の別所長治が争った三木合戦が始まると、端谷城を治めていた衣笠範景は別所氏に味方しました。
3. 端谷城は少ない兵で最後まで羽柴軍を悩ませましたが、天正8年（1580年）1月17日に三木城が落城すると、端谷城も落城しました。しかし、その城跡の一部には石垣や堀切の跡が残っており、当時の端谷城が峻嶒であったことを今もなお物語っております。



端谷城本丸跡にある本丸の説明看板